

農業者の皆さん「労災保険」の特別加入制度をご存知ですか？

労災保険は、本来、労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して保険給付を行う制度ですが、強制加入義務のない農業者の方も、一定の要件のもとに特別加入という形で任意加入できます。

このような方が特別加入制度の対象になります。



(1) 特定農作業従事者

年間農業生産物総販売額 300 万円以上または、経営耕地面積 2 畝以上の規模の方で、次に示す農作業に従事している方。

①トラクター等の動力により駆動する機械を使用する作業②2 畝以上の高所での作業。③サイロ、むろ等の酸欠危険場所での作業④農薬散布⑤牛、馬、豚に接触し、または接触する恐れのある作業

一定の経営規模以上の方が加入できます



(2) 指定農業機械作業従事者

自営農業者（兼業農家を含む）の方で、次に指定された機械を使用し農作業を行う方。

①動力耕うん機その他の農業用トラクター②動力溝堀機③自走式田植機④自走式防除用機械⑤自走式動力刈取機、自走式収穫用機械⑥トラック、自走式運搬用機械⑦動力脱穀機や動力草刈機などの定置式または携帯式機械⑧無人ヘリコプター（農業用途）

経営規模にかかわらず加入できます！



(3) 中小事業主等

雇用のある農業経営者で年間100日以上労働者を使用することが見込まれる事業主および労働者以外でその事業に従事する方（事業主の家族従事者など）

加入には一定の要件があります！

※(1)、(2)、(3)は重複して加入することはできません。

給付種類の一例です。

療養補償給付（けがの治療）、休業補償給付のほか障害給付や遺族給付、葬祭給付などがあります。

※給付については、**加入範囲内で労災認定される必要**があります。農作業を行う全ての行為が対象となるわけではありません。（労災認定は一関労働基準監督署が行います）

年間保険料は下記の金額です。（H31.1月現在、給付基礎日額 5,000 円の例）

加入区分	特定農作業	指定農業機械	中小事業主等
保険料額	16,425 円	5,475 円	23,725 円

※事務手数料別途

詳しい内容・お問い合わせは、お近くのJA営農経済センター、またはJA営農振興課まで

畜産情報

※黄色の網掛けはトップの支部。（単位：円、ただし高値・安値は千円）税込みです。

支部	雌				去勢				合計		
	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	平均価格	前回比(%)
一 関	12	863	561	698,490	22	1,044	611	785,307	34	754,666	92.5%
花 泉	34	922	524	720,455	41	1,179	621	844,823	75	788,443	97.1%
平 泉	4	785	703	730,890	10	916	581	816,264	14	791,871	104.7%
千 厩	10	756	545	655,236	20	1,300	686	828,684	30	770,868	99.6%
藤 沢	7	870	596	759,240	6	1,256	718	884,340	13	816,978	99.5%
大 東	14	964	558	771,583	32	1,401	715	906,559	46	865,479	106.8%
東 山	3	954	703	796,680	9	1,083	836	952,920	12	913,860	107.0%
室 根	7	783	684	743,349	11	1,279	777	940,975	18	864,120	101.2%
川 崎	5	890	672	748,008	3	1,284	837	1,010,160	8	846,315	95.7%
合計・平均	96	964	524	727,121	154	1,401	581	863,144	250	810,912	100.0%

1月市場の
最高販売額の血統構成

雌 父：美国桜
母の父：百合茂
祖母の父：安 平
(大東)

去勢 父：幸紀雄
母の父：安福久
祖母の父：平茂勝
(大東)



県南子牛市場

1月10日

県版GAP認証取得

「金色の風」栽培研究会ブランディング米部会



JA「金色の風」栽培研究会のJAブランディング米部会は12月17日、岩手県版農業生産工程管理（県版GAP）に登録されました。団体登録を目指す8農場と個人登録を目指す1農業法人は、農場ごとの栽培記録簿などの書類や施設の調査などに見事合格し、「金色の風」に「おいしい」だけでなく「安全・安心」の付加価値を付けることができました。

今後は、ASIAGAPにステップアップする農場の拡大を図りながら、安全安心な「金色の風」の栽培に取り組み、ブランドの確立を目指します。



農場調査を受ける（有）ドリファー花泉の阿部信夫代表取締役◎



生産資材価格動向について

1. 飼料

1月～3月は、全国全畜種総平均トンあたり約500円値上げとなりました。H30.10月～12月は、800円値下げから転じての値上げとなりました。大豆価格は下落しているものの、コーンは輸出需要が強く高止まりしており、為替については12月113円台で推移したことが値上げの要因となりました。

粗飼料については、各産地、品種ともおおむね順調に収穫されたものの、上級品は限定的となり、中級以下が主流となりますが、需要は増大しております。豪州産オーツヘイは、昨年産の在庫が逼迫していることから現地価格は上昇しています。

2. 肥料（H30.11月～H31.5月の価格）

H30の春肥料は、H20年の肥料高騰前と同水準まで引き下げになっておりましたが、H31春肥価格は前年対比で尿素の約14.5%をはじめとし、高度化成で6.4%の値上げとなりました。尿素については、世界最大の輸出国である中国の環境規制強化による減産が大きく影響しており、今後も国際市

況は堅調に推移するとみられます。

3. 保温包装資材（不定期）

農業用ビニール・農業用ポリエチレン・農ポリ類、被覆資材は原油を原料としたナフサから製造されますので、原油価格の動向に影響を受けます。原油価格は高水準で推移したことにより、価格は上昇傾向にあります。

段ボール資材については、古紙価格が28年から高騰し、国内メーカーは31年1月より8円/キが決定しました。これにより31年は製品価格で6～7%の抑制となり、JAでは材質の変更、規格の変更も視野に入れ、輸送試験を実施し価格の抑制に取り組みます。

4. 牧草種子

昨年4月、種苗会社が農林水産省から、種苗法違反の指摘を受けたことにより、各品種の「普通種」が廃止されました。今後、正確な品種名での販売となり、価格的には高くなることと予想されます。

昨年収穫した種子の販売は3月中旬以降となります。

生産資材ひろば

指導員紹介

畜産課 酪農担当

昆野 貴宏

JAでは乳質改善に向けて体細胞検査、細菌培養検査を実施しています。体細胞検査はその場で検査結果が出るので、治療に役立てることができます。お気軽にご相談ください。



格付	雌			去勢			上物率 (格付4等級以上)
	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	
JAいわて平泉販売分 5等級	484	2,883	1,395,354	543	2,762	1,500,546	100%
4等級	436	2,430	1,060,273	498	2,318	1,155,541	
3等級	—	—	—	—	—	—	

販売頭数38頭

※枝重、単価、販売額は平均値

JAいわて平泉集荷月間最高販売牛 血統紹介

*雌の部 美津照重 × 第1花園 × 平茂勝 A5 486 kg 2,997 円
*去勢の部 幸紀雄 × 安福久 × 金幸 A5 592 kg 3,072 円

和牛枝肉販売成績
1月